

令和 6 年度 明石市生ごみ処理機等購入助成事業

対象者事後アンケート結果について

明石市では、循環型社会の実現のため、『ゼロ・ウェイストあかし』を合言葉に、ごみの減量・再資源化に向けたさまざまな取組を実施しています。そのなかで、令和 6 年度に実施した「家庭用生ごみ処理機等購入助成事業」において、助成金の交付した世帯を対象に、生ごみ処理機の利用状況や生ごみの減量効果等にかかるアンケート調査を実施しました。

1 事業概要

市民の環境に対する関心を高め、家庭から排出される生ごみの減量化・再資源化を図ることを目的とし、家庭用生ごみ処理機等の購入に要する費用の一部を助成することで、生ごみの自家処理を推進するものです。

申請期間	2024 年(令和6年)8月 1 日～2024 年(令和6年)11月 30 日
請求期間	2024 年(令和6年)9 月 1 日～2025 年(令和7年)2 月28日
対象者	明石市民(事業者は除く)
対象機器	① 電動式生ごみ処理機(たい肥の生成や乾燥による生ごみ再資源化・減量機器) ② 生ごみ処理容器等(コンポスト等生ごみ処理容器等)
助成金額	① 購入費用の 1/2(上限 30,000 円) ② 購入費用の 1/2(上限 5,000 円) ※ 消費税を除く購入金額(本体価格)が対象
申請方法	・電子申請(Logo フォーム) ・郵送、FAX、持ち込み

2 事業実績

- ・申 請 者 : 278 名(電子申請241名、郵送等申請37名)
- ・交付対象者 : 253名(電子申請215名、郵送等申請38名)
- ・助 成 金 額 : 5,026,500 円
 - ①電動式生ごみ処理機 219 件 4,913,400円
 - ②生ごみ処理容器等 34 件 113,100 円

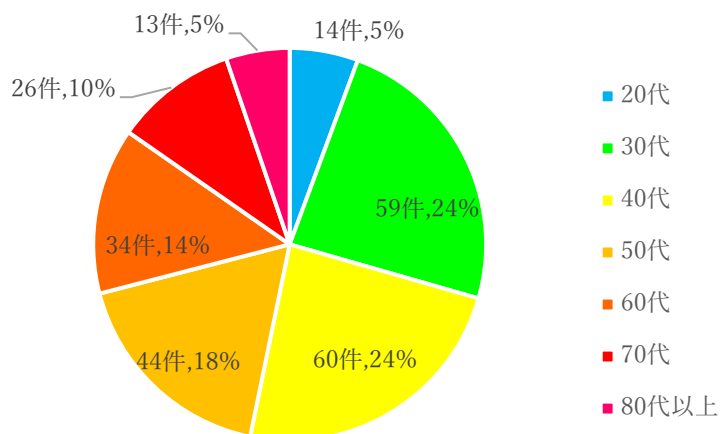
3 アンケート結果

【調査概要】

- ・調査期間：2025年(令和7年)3月13日～2025年(令和7年)4月30日
- ・調査方法：郵送によるアンケート用紙送付
- ・回答方法：電子回答・郵送回答
- ・調査対象者数：253名
- ・回答数(回答率)：250名(99%)

【調査結果】

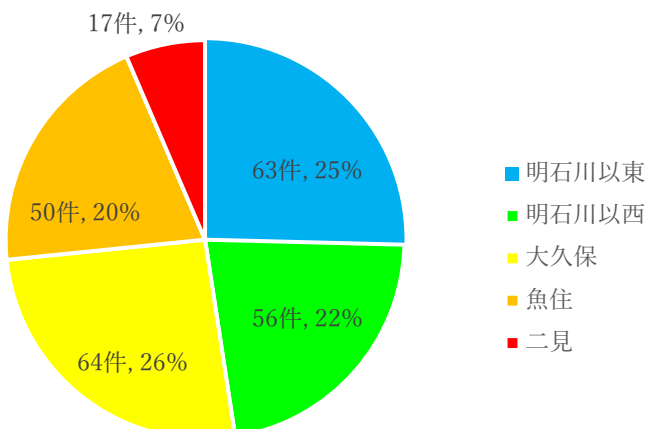
問2 あなたの年代をお答えください



【問2】

30代・40代の申請者が約半数を占めている。
また、20代・80代は、ともに5%と少ない。

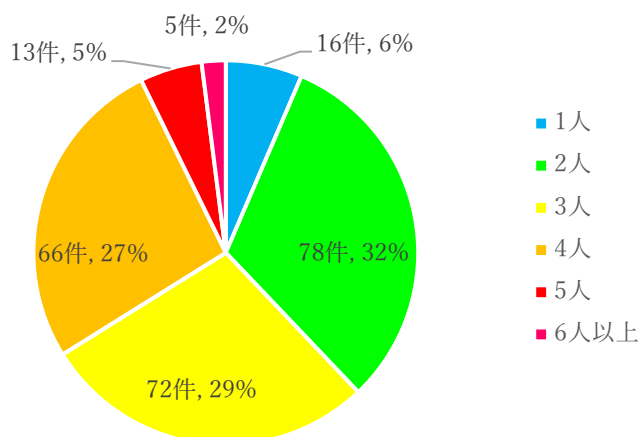
問3 あなたの居住地域をお答えください



【問3】

二見地域が7%と少ないが、
他の地域では、偏りはみられない。

問4 世帯の人数をお答えください

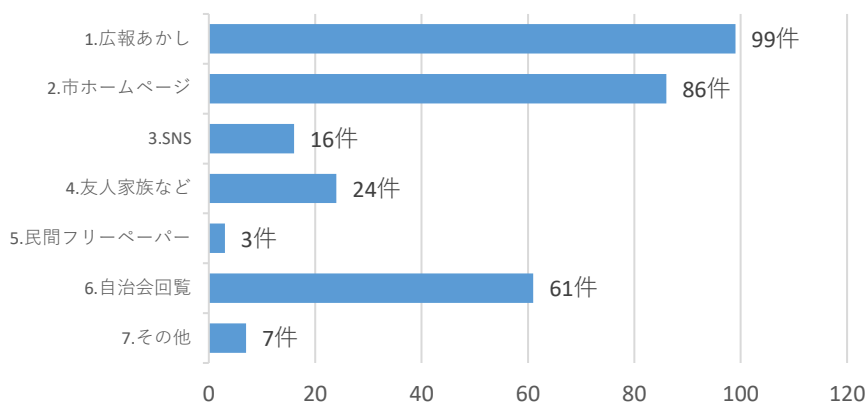


【問4】

単身世帯は 6%と少なく、世帯人数 2 人～4 人が約 9 割を占めている。

問5 本助成制度に関する情報は何かから得ましたか。

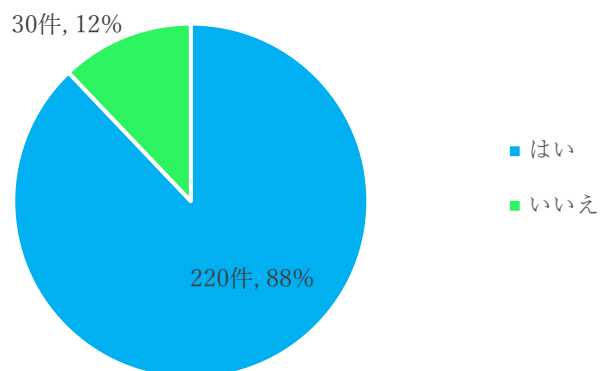
(複数回答可)



【問5】

本助成制度に関する情報収集は「広報あかし」を活用している方が最も多く、次いで「市ホームページ」、「自治会回覧」が多い。

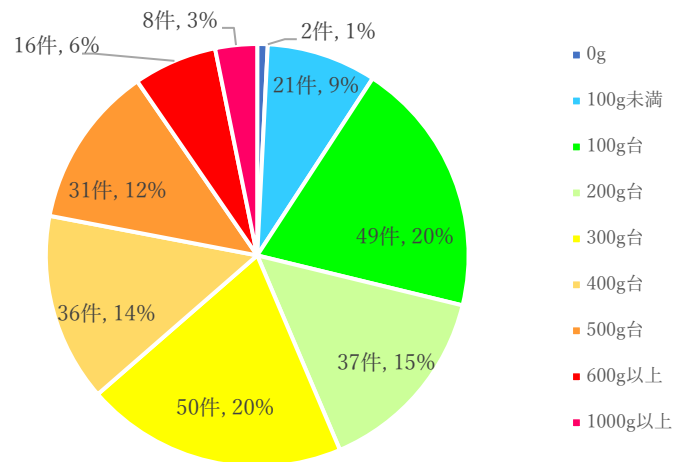
問6 生ごみ処理機を購入したのは初めてですか



【問6】

令和6年度に初めて生ごみ処理機を購入された方が 88%を占めている。

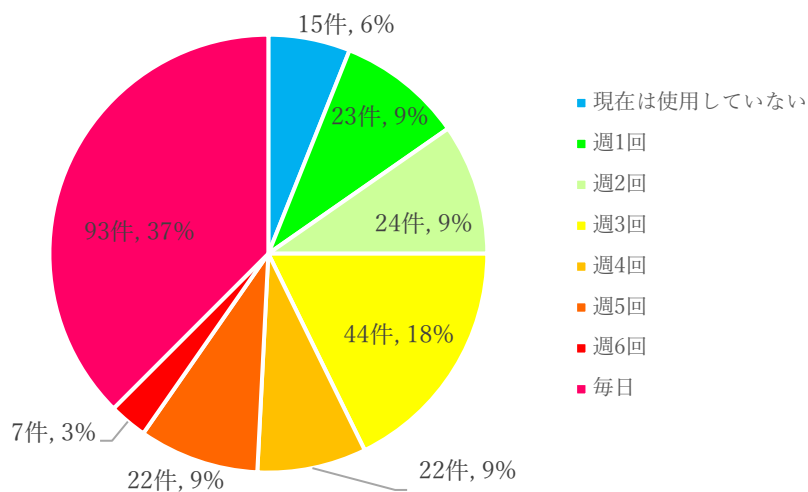
問7 生ごみ処理機に投入する生ごみ量（1日あたり）を入力してください



【問7】

生ごみ処理機に投入する生ごみ量（1日あたり）は100g～400g台で69%と大半を占めている。

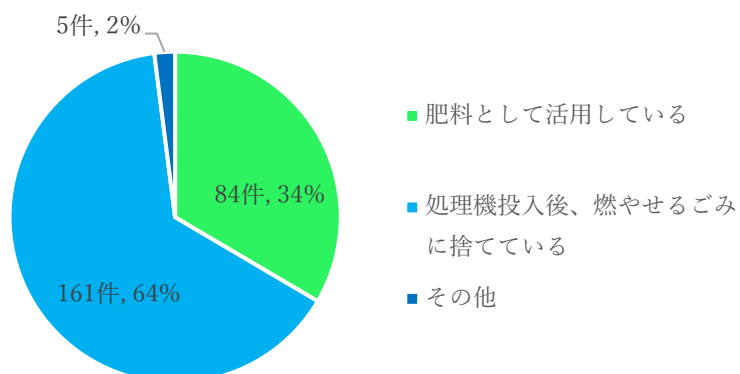
問8 1週間で生ごみ処理機を使用する回数をお答えください



【問8】

生ごみ処理機を毎日使用している方が最も多く、37%を占めている。次いで、週3回が18%と多い。

問9 生ごみ処理機を使用後どのように処理していますか

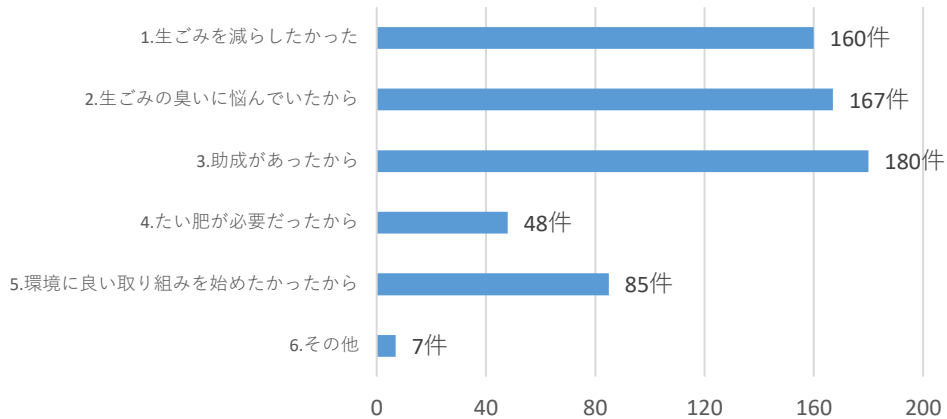


【問9】

処理機投入後、燃やせるごみに捨てている方が64%、肥料として活用している方が34%を占めている。

問10 生ごみ処理機を購入した理由をお答えください

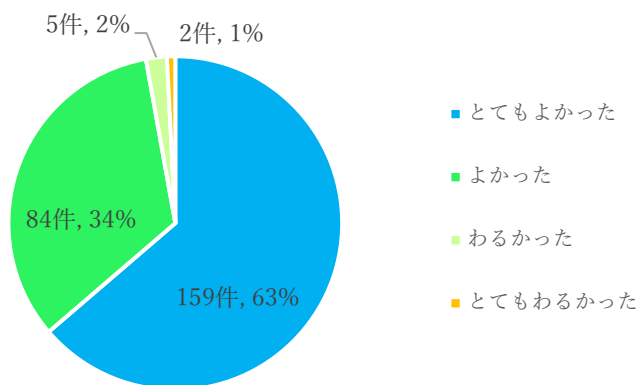
(複数回答可)



【問 10】

生ごみ処理機を購入した理由として、「助成があったから」が最も多かった。次いで「生ごみの臭いに悩んでいたから」「生ごみを減らしたかった」が多い。

問11 生ごみ処理機を使用して、どう思いましたか

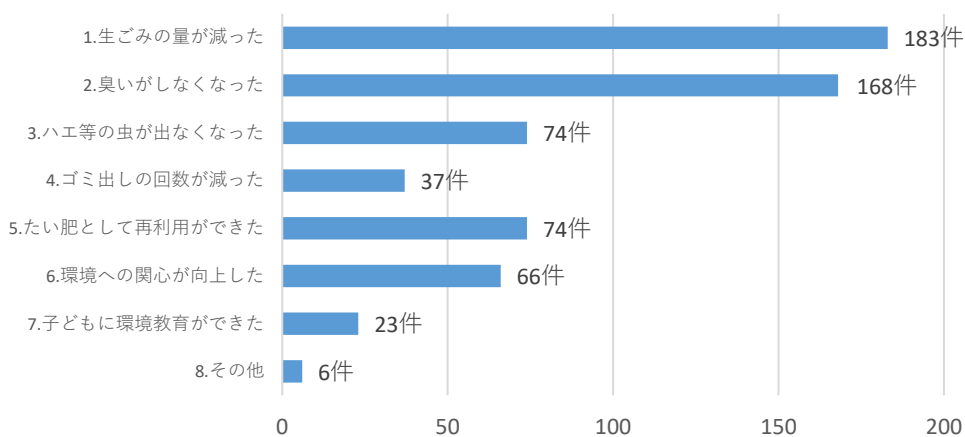


【問 11】

生ごみ処理機を使用して、「とてもよかった」「よかった」との意見が 97%を占めている。

問12 生ごみ処理機を使用してよかった点をお答えください

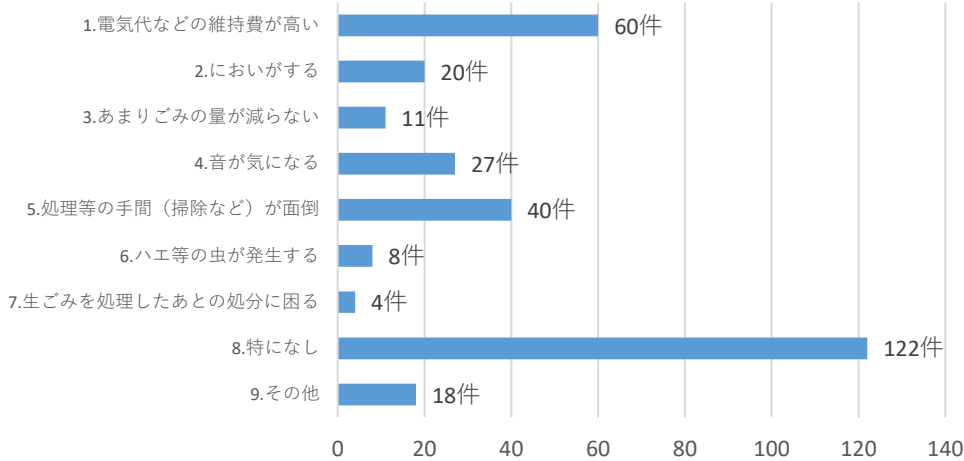
(複数回答可)



【問 12】

「生ごみの量が減った」「臭いがしなくなった」の意見が多数を占めている。次いで、「ハエ等の虫が出なくなった」や「たい肥として再利用できた」との意見も多い。

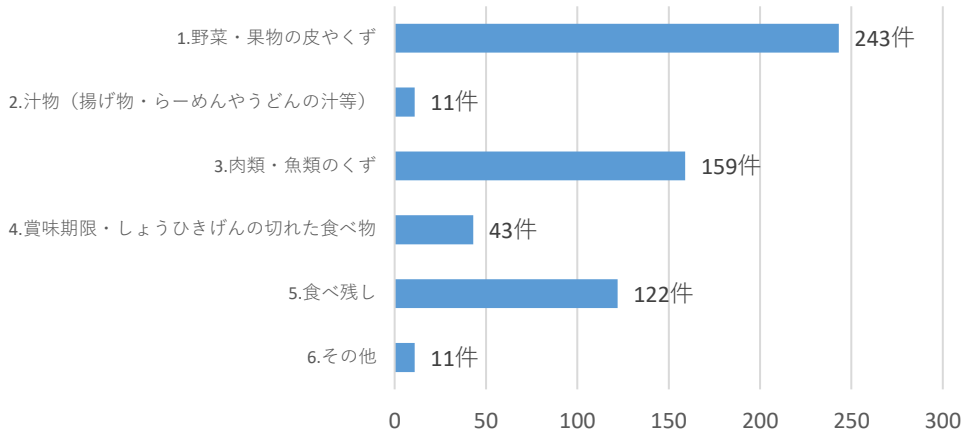
問13 生ごみ処理機を使用してわかった点をお答えください
(複数回答可)



【問 13】

「電気代などの維持費が高い」「処理等の手間（掃除）が面倒」の意見も多かったが、悪かった点は「特になし」との意見が多数を占めている。

問14 生ごみ処理機に投入するものはどのようなものですか
(複数回答可)



【問 14】

生ごみ処理機に投入しているものとして「野菜・果物の皮やくず」が 97%を占めている。次いで、「肉類・魚類のくず」「食べ残し」が多い。

4 ごみの減量効果について(推計)

問7(1日あたりの生ごみ処理機への投入量)、問8(1 週間あたりの処理回数)、問9(生ごみ処理機使用後の処理方法※)の回答結果をもとに、ごみの減量効果を推計しました。

※ 生ごみ処理機使用後の処理方法の違いによるごみの減量率を下記の通り仮定する

- ① たい肥化する 100%減
- ② 燃やせるごみに出す 70%減

	投入量/日×投入回数/週	投入量/週×減量率 (%)	合計 (全世帯)
① たい肥化 (86世帯)	約178kg	約178kg	約347kg
② 燃やせるごみ (164世帯)	約241kg	約169kg	

※ 問9のその他5件については、3件が[たい肥化]、2件は[燃やせるごみ]に計上

1世帯あたりの生ごみ減量効果(1 週間平均)

約 347 kg ÷ 250 世帯 = 約 1.39kg/週

1年間の生ごみ減量効果(推計)

約 1.39kg × 253 世帯 × 52週 = 約 18.3t/年

1年間で、約18t/年の生ごみが減量できると見込まれます。